

ひざし

2016 5

No. 207



玉ねぎ植付作業の様子

(湧別町北兵村一区 牧野正俊さん圃場にて)

第17回えんゆう農業協同組合通常総会

事業推進を図り組合員の営農と生活を守る



第17回通常総会の様子と開会挨拶を述べる中川組合長(写真左円内)

えんゆう農業協同組合第17回通常総会が4月12日、上湧別農村環境改善センターで組合員331名(本人出席120名、代理出席40名、書面151名)が出席し、全11議案が原案通り決定しました。

総会は定刻の午前10時より、菅井専務の開会宣言の後、出席した組合員・役職員・来賓全員でJA綱領を朗唱し始まりました。

開会に先立ち中川組合長から、「27年度事業は、10月に来襲した2度の台風による倒伏被害で収穫作業に難渋されたことと思います。また、シソはその台風の影響により油糧で平年の3割減という大きな被害を受けました。この台風で被害にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます」と述べたあと、一般的な作柄は、「畑作は一部台風被害を除き豊作の年となり、酪農も加工原料乳価の引き上げと個体販売価格の上昇、そして組合員の皆さんからの良質な農畜産物の出荷に支えられ、過去最高だった昨年度の販売実績額をさらに上回る128億9千65万円となりま

した」という報告をしたあと、「その結果、2億6643万円の剰余金処分案をご提案出来ますことは、組合員の皆様の積極的な農協事業への結集の賜物です」と感謝の意を表し、



T P P 等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議案を朗唱する志鎌青年部長



議長を務めた湧別町北兵村三区の松浦健治さん(左)と遠軽町豊里の前島英樹さん(右)



行政ならびに関係機関等を代表して祝辞を述べる石田湧別町長(上)と佐々木遠軽町長からの祝辞を代読する広井遠軽副町長(中)、西本JA北海道中央会北見支所長(下)

「JAへの出資金増資の第4年目も無事に増資をいただき、自己資本比率の向上とさらなる財務基盤の改善を図ることが出来ました。組合員皆様の農協に対するご理解、ご協力に深く感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。

引き続き、来賓を代表して石田湧別町長、佐々木遠軽町長の代理の広井遠軽副町長、西本JA北海道中央会北見支所長より祝辞をいただき、武部衆議院議員からの祝電を筋内総務委員長が披露されました。続いて、松

浦健治氏(湧別町北兵村三区)、前島英樹氏(遠軽町豊里)の2名を議長に選任し議案審議に入り、平成27年度事業報告と決算報告、剰余金処分、平成28年度の事業計画、定款等の変更など、全11議案が原案通り承認されました。

また、「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議」を志鎌青年部長が強く読み上げ、満場一致で採択されました。

最後に中川組合長の閉会挨拶、菅井専務の閉会宣言で午後0時01分に全日程が終了しました。

◆ 今月の主な記事 ◆

- ◎ 第17回えんゆう農業協同組合通常総会……………2
- ◎ 平成27年度農畜産物共励会各賞決定……………4
- ◎ 第28回JA北海道大会パネルディスカッション③……………5
- ◎ JA女性部役員道外視察研修を終えて……………6
- ◎ JA女性部酪農班1日研修……………6
- ◎ JA女性部フレッシュユミズ酪農班1日研修……………6
- ◎ 第6回えんゆう乳牛検定組合通常総会……………8
- ◎ 第18回年金友の会総会……………9
- ◎ 第5回えんゆう酪農ヘルパー利用組合……………9
- ◎ 玉ねぎ植付作業始まる……………10
- ◎ 立茎アスパラ「遠軽によっきーず」の収穫出荷作業が始まっています……………10
- ◎ 平成28年度春季農事部懇談会……………11
- ◎ 退職者挨拶……………12
- ◎ 遠軽厚生病院だより……………13
- ◎ 理事会のあらまし……………14
- ◎ 平成28年度採用職員紹介……………14
- ◎ クロスワードパズル……………15
- ◎ 読者の声……………15
- ◎ えんがる「旬」の祭典匠のアスパラ料理フェア開催中……………16
- ◎ いもたま作造くん……………16



表彰を受ける組合員の皆さん

平成27年度 農畜産物共励会各賞決定

質と量を兼ね備えた農畜産物の出荷を切磋琢磨することを目的として、昨年度から始めました農畜産物共励会の平成27年度各賞が決まり、4月12日のJAえんゆう通常総会の席上で表彰をおこないました。

受賞された組合員の皆様、おめでとうございます。

甜菜の部

山口 秀雄さん

(湧別町南兵村二区)

ha当たり糖収量

13.78 t

小麦の部

岡和田 博さん

(湧別町南兵村二区)

反当たり収量

784kg

玉葱の部

本人希望のため氏名未公表

(未公表)

反当たり収量

7,661kg

ブロッコリーの部

花木 慶喜さん

(湧別町南兵村二区)

ha当たり金額

284,531円

馬鈴薯の部

(有)岩城農場さん

(遠軽町白滝)

反当たり収量

3,949kg

生産乳量の部

(株)開盛デーリィファームさん

(湧別町開盛)

総生産乳量

3,513 t

酪農経営の部

柳田 拓馬さん

(遠軽町生田原水穂)

1頭当たり生産乳代

1,005,848円

1頭当たり乳量の部

柳田 拓馬さん

(遠軽町生田原水穂)

1頭当たり生産乳量

11,315kg

総合乳質の部

澤口 豊さん

(湧別町北兵村二区)

体細胞数/生菌数

43

第28回 J A 北海道大会 パネルディスカッション③

美しい農村景観の意味と価値 加工食品の材料にも北海道産

作家・エッセイスト 森 久美子 氏

J A 北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業と J A グループに期待すること」をシリーズで紹介します。



森 久美子 氏

(もり くみこ)

作家・エッセイスト

農林水産省・食料・農業・農村政策審議会臨時委員

北海道農業・農村審議会委員

第3回は、森久美子氏の提言を紹介します。

美しい農村景観を守るため輪作体系の教育を

景観について考える気持ちをお話ししたい。以前、写真で見た美瑛町の農村景観にびっくりした。この美しさは農業があるからこそだと気づいた。

東京に住んでいたころ、実家から届いた北海道の野菜をおすそ分けをすると、食べてみないうちに「北海道でしょ、おいしいんだよね」と必ず言われた。その時、同時に農村景観の美しさや清涼な空気、広大な土地をイメージして買っていると思った。

札幌市民あるいは道民は、当たり前すぎて、農業生産が行われているからこそその風景だというありがたみが欠けている。

「いつまでもあると思うなこの景観」というのは、半分は冗談に聞こえるかもしれないが、かなり本気で思っている。農業が継続されないと、この景観を失い観光客も来なくなり、経済でも北海道は行き詰る。

それではどうすれば良いのか。食農教育の分野で、みなさん個人個人は頑張っていており、農作業のご苦労や、なぜおいしいのかという話

はされるが、案外、輪作体系を教えている機会はほとんどないのではないか。

去年と同じ農村景観を撮ろうと思っただけで、なぜか色が違う。輪作があるからだよと都会の人たちにも教えて頂きたい。J A の力であればできるのではないかと思っただけ。

消費者に選ばれる北海道産入りの加工食品

単身者の世帯数が全国平均で戸数として3割以上ある。生鮮食品に使う食料費が非常に少なくなっており、外食、外食以外の中食、調理済み食品に食料支出の44%を使っているのが2013年度の統計に出ている。

加工食品を食べている人たちが、どれだけ日本のものや道産のものを意識してくださるかが非常に重要。

J A グループが一丸となつて、「北海道産を使っているカップ麺」とか表示なり宣伝文句をつけて、そ

の分、仮に外国産の材料より10円高くても買う、という消費者を増やしていかなければならない。

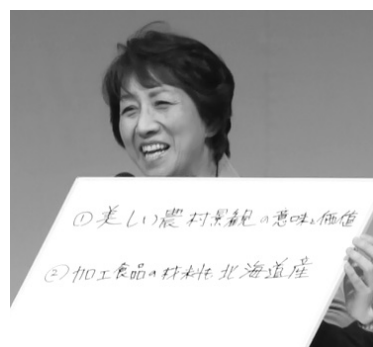
北海道の目指す農業、農村の姿ということ、550万人と共にということは大変すばらしい。実現できるよう、私たちも消費者の一人でもあるので力になれたらと思っただけ。力強いだけでなく、今まで農業を続けられたご年配の方たちが、「自分の人生はこれで良かった」と思うような農村を作ってほしい。力強い農業・農村には、そのことも含んでいることを意識して頂きたい。A

コープの買い物支援も含めて地域の人たちを守る、地味だけど J A だかからできることをぜひ忘れないでやって頂きたい。

最後に一言

再生産できる価格で買って頂いて農業が続けられ、農村を守るために補助金を出してもらおう。国民のコンセンサスを得られるための啓蒙活動をして頂きたい。

J A グループを含め農家を守ることも、道民の健康や生活を守っていることを分かってもらうようにすることが、サポーターを育てることだと思っただけ。農業に対する理解がない人たちが誤解なく農業を理解してくださるようこれからも頑張りたい。



J A女性部役員道外視察研修を終えて

副部長 長谷川 美香

このたび、J A女性部役員道外視察研修で福岡県ならびに長崎県の農業施設等を3月28日から3月31日までの4日間で視察してきました。

初日、出発時の女満別空港は一面銀世界でしたが、飛行機を乗り継いで福岡空港に到着すると、暖かくて桜やコブシの花が満開の風景がまず目に飛び込んで来て、日本列島の長さ、そしてまもなく北海道にも春がやってくることを感じました。

まず空港に着いたその足で、福岡県福岡市南区にある「ぶどう畑」という農産物直売店を見学しました。

この直売所は、元々は葡萄農家だった新開さんとその仲間5名でリヤカーを引きながら野菜の直売を始めたのをきっかけに平成11年に「ぶどう畑」と名付けた野菜直売店舗をスタート。現在は30名のスタッフで、生産・販売・加工の三部門を切り盛りしており、生産は200坪のビニールハウスでの水耕栽培と露地栽培をおこない、これらの自家栽培物と近隣農家からの委託物を直売所で

販売しています。自家生産を始めた経緯としては、近隣農家の野菜だけでは、品切れになることが多かったため、これにより品切れがなくなったそうです。

加工は、獲れたての野菜を使った惣菜や弁当の製造販売をしているとのこと、店頭に並んだお弁当（桜の時期に合わせ、お花見弁当という名前がついていました）もお昼まで

に完売という盛況ぶりでした。

私たちが見学している間にも年間を通して栽培している水菜やベビーリーフ、レタス、ハーブなどの野菜が収穫されて、すぐに直売所に運ばれていく様子が見られるなど、新開さんを始めとするスタッフの方々が忙しい時間の合間を縫って、1時間余りの意見交換をさせていただき、大変貴重な経験を得ることが出来ました。

意見交換で印象に残った話の一つに、直売所を始めた頃、「うまくいくはずがない」、「すぐに潰れる」など、色んなことを言われたが、自分たちが目指した「新鮮で美味しく安心して出来る農産物の直売」を通じて、消費者と生産者が常に「顔の見える関係」でありたいと考えて頑張っていますという話でした。

また、新開さんたちは、幼稚園や小学校での食育活動にも力を入れているそうで、子供たちはもちろん、父母の皆さんにも食の大切さを伝える活動をおこなっており、「食が歪むと精神も歪む」と言われたのは賛同いたしました。短い間でしたが「元気のパワー」をおすそ分けいただき、「私たち農家の母ちゃん」もまだまだ頑張らなければと気持ちを新



ハウス内では水耕栽培で色んな野菜が栽培されていました

たにしました。

翌日は、前日訪問した新開さんのご紹介で、福岡県春日市にある福岡県男女共同参画センター「あすばる」に訪問させていただきました。研修を受けました。

「男女共同参画センター」という北海道では全然馴染みの無い言葉で事前に調べてみましたが、それでもよく解らず、当日、常務理事兼館長の松田美幸さんから「どのような活動」をしているのか話をうかがいました。

そして、「あすばる」という言葉も全く意味がわからなかったのですが、「明日」と「集まって一つになる」



野菜直売所「ぶどう畑」でスタッフの皆さんと



男女共同参画センターでは貴重な話を聞くことができました

を意味する古語の「すばる」を組み合わせた造語で、平成8年11月11日に開館し、現在、福岡県に住むすべての男女が共に個性と能力を発揮することの出来る社会を目指す活動をおこなっているそうです。

活動は活発におこなわれており、特に女性に対して、女性農業アドバイザーや指導農業者、生活指導士になるための支援をおこなっており、この支援をおこなっているのも女性の方がおこなっていることで、その他にも女性を対象に「ふくおか女性いきいき塾」を開いており、女性が地域や企業のリーダーとして活

躍するための知識や活動を8ヶ月の長期プログラムで学ぶそうです。

福岡県は行政が認定してくれたアドバイザー制度の制定が全国でも早かったおかげで福岡県女性の意識レベルもアップしたとのこと、館長の松田さんが言った「女性の活躍が地域を変える」という言葉が強く耳に残りました。

最終日は、長崎市中央卸売市場株式会社「長果」を見学しました。

今回、部長の牧島さんに忙しい中、市場の中を案内してもらい、上湧別の玉葱を見せてもらうとともに、道内の他の玉葱生産地である富良野、幕別、きたみらいなどの玉葱も見せていただきました。

去年は豊作だったことから、玉葱がだぶついて市場も苦労したそうです。そして、暖冬のためか既に道外からは新玉葱が出荷されていました。抱き玉が多いとの話をうかがい、拝見したところ、大きくて白く柔らかく、そうで大変美味しそうな玉葱を見て、もっと良い玉葱を収穫しなければと感じました。

市場見学後は、事務所で常務取締役の林田さんと意見交換をおこないました。九州の近隣地域では、佐賀が昨年出た病気で不作だったそうで

す。その他、忙しい中、時間をさいて対応していただき、貴重な話を聞かせてもらい感謝するばかりでした。

市場を出発して、タクシーで空港に向かう途中、運転手さんに道の駅か直売所が近くにないか聞いてみたところ、ちょうど3月26日にオープンしたばかりの道の駅があるとの情報を教えていただいたので、案内してもらい、急遽、長崎街道鈴田峠の道の駅を見学しました。

この道の駅はレストランがあり、物産店には、野菜、米、魚、果物、工芸品などが所狭しと並んでおり、北海道には馴染みがない野菜や魚などがたくさんありました。その土地柄が出ており、急遽でしたが見学出来て良かったです。

その後は、長崎空港に到着後、乗り継ぎして、夕刻、無事に女満別空港に到着し、研修を終えることが出来ました。

今回の研修では、事務局の佐藤君が引率してくれて私たち役員一同、大変助かりました。今回、JR移動がほとんどで乗換も多く、普段JRで乗換する経験がない私たちには慣れない旅程でしたが、細やかな気配りでカバーしてもらい、すっかりお世話になり感謝するばかりです。

今回、貴重な経験をさせていただき、役員間の絆も深まり、あと一年の役員任期の中でこの経験を役立てていければと思います。

最後になりましたが、今回の視察研修にあたり、ご協力いただいた農協ならびに各関係機関の方々には深くお礼申し上げます。

そして、笑顔で送り出してくれた、旦那様と家族にも感謝の気持ちで一杯です。

ありがとうございます。

以上をもちまして、JA女性部役員視察研修の報告に代えさせていただきます。



長果の牧島部長から話をうかがう役員皆さん

家畜市場での売買の流れを学ぶ

J A女性部酪農班1日研修

J A女性部酪農班では、4月5日に1日研修を開催し、佐呂間町にあるホクレン北見地区総合家畜市場を見学するとともに、普段は牛舎から送り出した後、見る機会

の少ない牛の売買の流れを学びました。

家畜市場では、肉用として売却される成牛や生後1週間から3週間ほど育ててから売却するホルスタイン種の雄仔牛や黒毛和牛との交雑種が次々とセリに掛けられて、売買されていく様子を見ることが出来ました。

そして、私たち農家の牛を運搬して販売してくれている秦野所長を始めとする畜産課畜産センターの職員の方から売買の流れなどについてわかりやすい説明を受け、短い時間ではありましたが有意義な研修とすることが出来ました。

畜産センターの秦野所長から家畜市場での売買の流れを 教えてもらう部員の皆さん

畜産センターの秦野所長から売買の流れなどについてわかりやすい説明を受け、短い時間ではありましたが有意義な研修とすることが出来ました。

第6回えんゆう乳牛検定組合 通常総会

えんゆう乳牛検定組合第6回通常総会は4月22日、J A本所にて組合員51名が出席のもと、湧別町遠軽町、J Aえんゆう、網走農業改良普及センター、N O S A I オホーツクから来賓を迎えて開催しました。

総会議案協議に先立ち、優秀農家表彰がおこなわれ、牛群能力の部2名、生涯能力優秀牛で3頭が情野修組合長から表彰されました。

総会は、平成27年度事業報告ならびに収支決算等の全議案が原案通り承認され、盛会のうちに閉会となりました。



議事を進める片岡康太郎さん(右)と箭内優貴さん(左)

自家製チーズづくり工房を見学 J A女性部フレッシュミズ酪農班1日研修

J A女性部フレッシュミズ酪農班では、4月21日に北見市東相内町にあるカフェ&チーズ、ラウレアで部員9名が出席のもと、1日研修を開催しました。

ラウレアさんは、昨年4月に新規開店した自家製チーズ工房とカフェレストランで、おしゃれな店内ではオーナーの並川さん夫妻が作った自家製チーズをつかった様々な料理でいただくことが出来て、チーズの販売もおこなっています。

今回は、まずお店でランチをいただいたことから、チーズづくり工房の見学と並川オーナーからチーズの製造工程説明を受け、自家製チーズを使った美味しい料理ともども、大変有意義な研修になりました。



オーナーの並川さんからチーズづくりについて話をうかがいました

第18回年金友の会総会

第18回年金友の会総会を、4月20日から22日にかけて、2班375名の参加を得て温根湯ホテルで開催しました。

開会挨拶に立った八巻光嘉会長は、「平成27年度の友の会事業も会員の皆さんのご理解ご協力で滞りなくおこなえたことに感謝したい」と謝意を示すとともに、「本年度も引き続き会員相互の親睦と健康増進のためパークゴルフ大会、温泉保養などに多くの会員の参加をお願いします」



豪華賞品をかけたジャンケン大会は大盛り上がりでした

と述べました。

来賓祝辞では、第1班は菅井専務第2班は中川組合長から、JA貯金・共済を始め農協と関係係子会社の各事業を日頃よりご愛用いただいたお礼と平成27年度の農協の決算報告についてご挨拶をもらい、総会も事業報告ならびに事業計画について報告し、閉会しました。

懇親会では、1班は関東悟副会長2班は宮内勝博副会長の乾杯音頭に続き、カラオケ大会では会員の皆さんから、自慢の喉を披露していただき、ジャンケン大会もおこない盛会のうちに全日程が終わりました。

現在、会員数は1784名となり、大きな組織体となっております。これも会員の皆さんの口コミによる宣伝と勧誘のおかげであり、感謝申し上げます。

また、当JAを新しく年金受取金融機関としてご指定いただきますと粗品の贈呈、さらには年金友の会行事への参加、年金優遇定期貯金と、様々な特典がありますので、友人知人等のご紹介を今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

第5回えんゆう酪農ヘルパー利用組合

えんゆう酪農ヘルパー利用組合第5回通常総会は4月22日、JA本所にて組合員46名が出席のもと、湧別町、遠軽町、JAえんゆうから来賓を迎えて開催しました。

開会挨拶にたった青柳敏孝組合長は「酪農ヘルパーの利用も堅調であり、組合員の皆さんにはお礼申し上げます。今後は事業目的を達成出来るよう体制作り而努力し、今後とも皆さんのご理解ご協力いただき、今後とも組合事業の推進を図っていきたい」と謝意を表しました。

総会は、平成27年度事業報告ならびに収支決算等の全議案が原案通り承認され、澤口豊氏（湧別町北兵村二区）を始めとする新体制が決定しました。



開会挨拶をする青柳敏孝組合長

☆新役員（敬称略）

組合長 澤口 豊

（湧別町北兵村二区）

副組合長 秋葉 宏之

（湧別町開盛）

副組合長 関口 隆宏

（生田原豊原）

副組合長 吉田 義巳

（遠軽町湯の里）

理事（会計兼務）

緑川 将仁

（湧別町富美）

理事 林 秀和

（遠軽町若咲内）

理事 坂本 俊彦

（遠軽町豊里）

理事 上野 邦彦

（丸瀬布上武利）

理事 飛澤 正徳

（生田原清里）

理事 渡瀬 英樹

（白滝支湧別）

監事 山口 公哲

（湧別町上富美）

監事 古閑 謙一

（白滝北支湧別）

玉ねぎ植付作業始まる

好天に恵まれた4月下旬、上湧別地区では一斉に玉ねぎの植付作業が始まりました。

玉ねぎの植付は、2月に播種してからビニールハウスの中で育てた苗

を4月下旬から5月上旬に極早生種を皮切りに中晩生種までを順次植付していきます。

今回、取材させていただいた湧別町北兵村一区の牧野正俊さんの家では、今年は12haの玉ねぎ栽培を予定しており、24日から植付作業を始めました。



玉ねぎの植付作業をすすめていく牧野俊介さん

忙しい作業の合間に後継者の俊介さんに話をうかがうと、「今年は4月中旬に雨が続いたため、昨年より植付開始が遅くなりましたが、昨年同様良い玉ねぎを作って消費者の皆さんに届けたいです」と笑顔で話してくれました。

今年の上湧別地区では、玉ねぎ栽培農家59戸が極早生から晩生の5品種、合計54.9haの栽培を計画しており、今年も昨年の出来秋に負けない豊穡の秋となることが期待されます。

立茎アスパラ「遠軽よつきーず」の収穫出荷作業が始まっています

「遠軽よつきーず」のブランド名で知られる遠軽町立茎アスパラ生産組合（岡村貴幸組合長）に所属している6戸の立茎アスパラガス栽培農家では、4月4日からアスパラガスの収穫が始まりました。



出荷の目合わせする生産者の皆さん

生産者の皆さんは、それぞれのビニールハウス内で育てたアスパラガスを一本ずついいねいに収穫した後、選果場でサイズ別に選果をおこなったあと、JAから青果市場やゆうパックスなどを通じて各地に販売しており、遠軽町のふるさと納税での返礼品としても出荷しています。

取材当日は、生産組合に所属する生産者が集まり、目合わせ会を開催して、今年の作況やサイズ、栽培方法などをそれぞれのハウスを回りながら意見交換をおこないました。

今年も昨年同様、良い作況とのことで、販売量の増加が期待出来そうです。また、4月28日から遠軽町内の飲食店で地産地消イベント「匠のアスパラ料理フェア」が開催されます。ぜひこの機会にご堪能下さい。

建設的な意見要望が多く寄せられる 平成28年度春季農事部懇談会

3月31日から4月5日にかけて、22地区9会場において、春季農事部懇談会が開催され、多くの組合員が出席しました。

懇談会では、平成27年度JA収支決算、農畜産物販売高、農協がおこなっている事業進捗度合い、今後の取組などを説明するとともに、組合員から多くの意見・要望が寄せられました。

主な事項についてお知らせするとともに、理事会において十分検討し、今後の事業推進に反映させてまいります。

なお、記載漏れ・内容不備があったときはご容赦願います。

春季農事部懇談会の主な意見・要望

【営農関係】

1. 新規就農に対する農協の対応はどうなっているのか？

↓現在、農協独自の事業は考えていない。湧別町・遠軽町との連携の中で今後対応していく。

2. 国の事業等の中身についての説明は、どこに聞いたら良いのか？

↓事業によって担当が各課に分散している。基本的には本所営農課、または各支所長あてに問い合わせ願いたい。問合せ先が担当外であれば、後ほど担当者よりご連絡させていたただく。

【農産関係】

1. 南瓜の残留農薬問題について、検査体制の整備はどうなっているのか？

↓収穫前に残留検査をおこなっているが、検査に時間を要する。事前に土壌検査をおこなっても結果が伴わないこともあるため、時間がかかり申し訳ないが現況の対応といたしたい。

2. 麦乾施設の利用料金はどうなるのか？

↓生産量によって単価は変動するが、15円/kg程度になる見込み。今後検討していきたい。

3. 畑作振興について酪農のように農協単独事業を増やしてほしい。

↓今後検討いたします。

【畜産関係】

1. 麦稈梱包の対応を農協でできないか？

↓農協には使用できる機械がないため、現況で対応できない。対応できる生産者がいればご協力願いたい。

2. ミキサー故障の場合に対応できる機械を農協で用意できないか？

↓機械維持等に難点はあるが、個人ではなく必要者を中心とした組織としてまとまれば前向きに考えたい。

3. 育成センターの拡大の考えをもっているか？

↓今後の検討課題として据えた。農協事業として2、3年後を目途として計画を立てたい。

4. ミルクドクターの有効性はどうなのか？

↓実際に残留事故を未然に防いだ事例がある。事故のあった生産者に対しては強く利用をお願いしているが、全員に無償での配布はおこなわない。しかしながら抗菌性残留事故を少しでも減少させるために使用者を増加させるよう推進する。

5. 生乳生産奨励事業について、牛乳が余るような事態になってもおこなうのか？

↓平成28年度については全道の目標数量が「前年実績×103%」を基本にしていることから増乳対策を実施していく。

【春季農事部懇談会出席者】

	午 前	午 後
3月31日(木)	屯市・5の2・5の3 22名	4の3・5の1 25名
4月1日(金)	開盛・札富美・旭 12名	4の1・4の2 26名
4月2日(土)	富美・上富美 16名	遠軽・学田・清川・社名淵・瀬戸瀬 21名
4月4日(月)	安国・生田原・清里 14名	丸瀬布 8名
4月5日(火)	白滝 11名	合計 155名

退職者挨拶



遠軽支所農産課 課長
石山 善春

陽春の候、皆様におかれましては、農作業も本格的に始まり、何かと多忙のことと存じます。

さて、私事ではありますが、この度、4月末日をもちまして定年退職させていただきました。

振り返ってみますと、昭和50年に旧遠軽町農協に入組以来、40年間の長きにわたり勤めさせていただき、様々な部署を経験してまいりました。その間、組合員の皆様方には何かとご迷惑を掛けたこととは存じますが、ご理解のもと、ご指導ご鞭撻を賜りましたことに心より深く感謝申し上げます。

さて、昨今の農業情勢につきましましては、T P Pを始めとする諸問題が山積しており、大変厳しい状況にあります。組合員ならびに役員の方々が一丸となって邁進されることをご期待申し上げます。

す。

なお、定年退職後もえんゆう農協のご厚意により、嘱託職員として再度勤めさせていただくこととなりましたので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、えんゆう農協の益々のご発展を祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。



株遠軽農業振興公社
関東 正廣

春暖の候、組合員の皆様におかれましては本格的な農作業前の準備で、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

さて、私事でございますが平成23年3月31日定年退職をし、その後の再雇用で引き続き、株遠軽農業振興公社に意向をしましてまいりましたが、平成28年3月31日をもって

まして会社解散と同時に5年間の契約を終了し、退職をさせていただきました。

顧みますと、昭和45年、旧遠軽町農業協同組合に入組し、各部署にて総合事業のほとんどを経験させていただきました。このことは、ひとえに組合員皆様方の温かいご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げます次第です。

平成11年の合併後は、名称も「えんゆう農業協同組合」となり、平成13年本所勤務への辞令をうけ、営農課、農産課と6年間勤務させていただきました。ありがとうございました。

平成19年5月、旧株エコープえんゆう丸瀬布店への出向辞令を受け、2年間の勤務後、平成21年6月からは株遠軽農業振興公社で7年間、厳しい実情の中ではありましたが、勤務を重ねてまいりました。

平成28年3月31日、26年続いた株遠軽農業振興公社の解散とともに、えんゆう農業協同組合の完全子会社として株遠軽食品が創立され、同4月1日より営業が開始と

なり、農協職員として最後の大きな仕事に関わることとなりました。

えんゆう農業協同組合での15年間は、初めての外国人研修生受入事業に携わったこと、思いがけず発生に至ってしまった事情等、様々な出来事が思い出されますが、これまで組合員の皆様をはじめ、役員の方々の皆様方には、一方ならぬご厚情を賜りましたことを重ねて心より感謝申し上げます。

ここまで46年間、時代は目まぐるしいスピードで変化していく中であって、私なりに何とか職責を果たせてこられたこと、今ここに振り返り安堵するところです。

最後になりましたが、組合員の皆様のご多幸とJAえんゆうの益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。簡単ではございますが退職の挨拶とさせていただきます。

長きにわたって大変お世話になりました。ありがとうございます。

健康食品に頼りすぎていませんか

～知らないと怖い!健康食品のあれこれ～

J A北海道厚生連 遠軽厚生病院 健診センター

健康食品に頼りすぎていませんか
知らないと怖い!健康食品のあれこれ



はじめに

多くの健康食品がある今、健康食品とはどういうもので、利用する際はどのような点に気をつければよいのか、上手な付き合い方についてのポイントをご紹介します。

健康食品とは

通常の食品よりも、「健康によい」「健康に効果がある」「健康の保持増進に役立つ」などの表現で販売されているものをいいます。

※特定保健用食品(通称:トクホ)は、国がヒトで有効性・安全性を審査し、許可した食品のことを

いいます。トクホには、お茶・炭酸飲料・ヨーグルトなどがあります。

違法品に要注意

健康食品の中には、有効性・安全性をまったく検証せず、医薬品の成分を添加し、医薬品のような病気の治療・治癒効果をうたった違法な製品があります。

利用するときの注意点

錠剤・カプセル状の健康食品は、特定の成分が濃縮されているため、下痢や腹痛の不調、発赤や発疹などのアレルギー症状と思われる健康被害が生じたケースがあります。また、医師・薬剤師などの専門家に相談せず、自己判断で病気の治療目的で健康食品を利用し、病院へ行って適切な治療を受ける機会を逃したり、服用している薬との相互作用によって副作用が生じることがあります。全ての人に安全である訳ではなく、特に病気の人、高齢者、妊産婦、乳幼児は、悪影響を受けやすいので、注意が必要です。私達が参考に行ける情報は、表示しかありません。表示を確認し、品質や消費者対応のきちんとした製品を選びましょう。

健康な毎日を過ごすために

健康づくりの基本は、「栄養、運動、休養」です。健康食品はあくまでも補助的なものです。本当にその健康食品

が必要か冷静に考えることが大切です。また、目的・方法・摂取量に気をつけなければ、効果は得られません。トクホを利用する場合は、乱れた食生活の不安を癒す目的や、医薬品の効果を期待した利用ではなく、食生活を改善する「きっかけ」として利用すること、製品に表示されている方法で摂取することが大切です。万が一、体調に不調を感じた場合は、すぐに摂取を中断し、医療機関に受診しましょう。

体にいい

健康食品は何にいいのかわかりませんが、「体にいい」とよく耳にします。何にいいのか?と言うところが一番大事なところなので是非そこを確かめてみましょう。「これだけで大丈夫」と書いてあっても横に「食事と運動が必要」と書いてあるものもあります。体にいいと思ったら、何にいいのかわかり見てください。

「高めの人」「高い人」

血圧が高めの人に...と書いてある場合があります。「血圧の高い人」ではありません。高血圧のお薬を飲んでいる方は「高血圧」であって血圧が高めではないと思いますので、健康食品等を使う場合は相談をしてみましょう。

食物繊維の入ったお茶

食物繊維の入ったお茶は食品の消化時間を緩やかにするため血糖の上昇も

緩やかにすると言われています。これは食事に混ぜることが必要なので食事の時に一緒に飲んでいただくのが効果的です。ただ、飲めば必ず血糖が下がるといってもありません。

注意が必要な時

お薬を飲んでいる場合に、健康食品や食材に注意が必要な場合があります。ワルファリンカリウム【ワーファリン】、ビタミンKが多く含まれている青汁・クロレラ・抹茶・みどり虫・セントジョーンズワート等を含んでいる場合は使用前に確認が必要です。

薬以外でも注意が必要な時

お腹の動きが悪い場合には「多くの食物繊維」や「お腹が満腹になる」等のものはそれだけで胃や腸がいっぱいになってしまいう事があるので、注意が必要です。

健康食品を使う場合は自分にあった無理のないものを選びましょう。

正常血圧	<130かつ <85
正常高血圧	130~139 または 85~89
I度高血圧	140~159 または 90~99

日本高血圧学会
「高血圧治療ガイドライン」より

理事会のあらまし

第3回理事会（平成28年4月27日）

◇報告事項

1. 春季農事部懇談会の主な意見・要望について
2. 年金友の会総会結果について
3. 組合員の異動について
4. 固定資産の取得について
5. その他

◇議案

1. 平成28年度理事報酬の配分について
2. 原案通り承認されました
3. サポーターづくり活動基本方針について
4. 原案通り承認されました
5. 平成27年度業務報告書及び連結業務報告書の行政庁提出について
6. 原案通り承認されました
7. 原案通り承認されました
8. 原案通り承認されました
9. 規程類の改正について
10. 原案通り承認されました
11. 出資金の増口・減口について
12. 原案通り承認されました



平成28年度 採用職員紹介

このたび、4月より男性1名の採用職員が入組しました。今後とも組合員の皆さんの温かいご支援ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

☆質問事項☆

- ①生年月日・血液型
- ②出身地・出身校
- ③特技・趣味
- ④自分の性格
- ⑤JA職員としての抱負



営農課基盤整備係
はなき としみ
花木 寿美

①昭和41年11月2日・O型
②湧別町・名寄農業高校
③特技：早寝早起
趣味：これから作ります
④温厚です
⑤力不足ですが、少しでも皆様のお役に立てるようがんばりますので、ご指導お願い申し上げます。

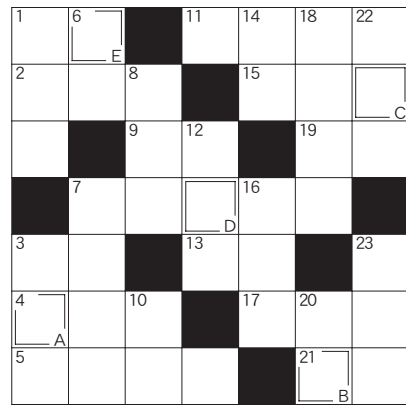
読んで「役立つ」「儲かる」「面白い」
情報で地域・農業、くらしを支えます。



●お申し込みは JA へ 毎日発行 定価1か月2,520円

食農情報をリードする
THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<http://www.agrinfo.co.jp>

プレゼント付きクロスワードパズル



A	B	C	D	E

4月号の答えは「ナツミカン」でした。農作業事故には留意願います。

湧別町上湧別 屯田市街地 駒形 睦子さん
 湧別町北兵村一区 牧野 悦子さん
 遠軽町生田原 堀江 広義さん

～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り **5月25日(水)**

タテのカギ

- 1 風呂場の中の体を洗める所。浴槽ともいいます
- 3 東大寺の大仏の頭には492個あったといわれています
- 6 仏壇の前で鳴らします
- 7 グリーンピースは青——のこと
- 8 ランキングのトップ
- 10 釣り糸の途中に付けます
- 12 左右反対に映ります
- 14 真実ではありません
- 16 甲羅があり、キュウリが好きな妖怪
- 18 キャベツの名産地、嬌恋——
- 20 ジャムの瓶の——が固くて開かない
- 22 塗り物に塗ってある物
- 23 田んぼでゲコゲコ鳴きます

ヨコのカギ

- 1 テッポウ、クルマ、ヤマといえは何の花？
- 2 分数の棒の上部に書きます
- 3 1467年に起きた応仁の——
- 4 車は車道、人はここを通ります
- 5 自宅から職場へ向かうこと
- 7 スクリーンが複数ある所もあります
- 9 雑巾やモップで掃除します
- 11 飛行機が離着陸する施設。エアポート
- 13 植物が作る甘い液
- 15 韓国の首都
- 17 アイスクリームや果物を盛り付けて作るデザート
- 19 1年で一番昼が長い日
- 21 漬物や酒を詰めます

読者の声

空気が良く野菜も新鮮な品を調達出来ていつもよろこんでおります。

早く美味しい野菜が食べたいです。(匿名)

ご利用ありがとうございます。今年の野菜は暫しお待ちください。ければ助かります。

寒い冬を乗り越えて春がやって来ました。畑では小麦の青さが日ごとに濃い色になって来ました。空を見上げるとひばりも鳴いています。ビニールハウスの中では玉ねぎの苗がぐんぐん成長して出番を待っています。今年も実り多き年でありますように！(匿名)

まもなく農作業が本格的に始まりますが、今年も良い出来秋になれば良いですね。

農人にとって真っ白な雪があるうちはなんとなくゆとりがあります。真っ黒な土を見るに気忙しく感じます。今年も忙しくなるけど、ゆつくりがんばります。(匿名)

雪も消えて、畑も入れるようになってきました。農作業事故には留意して農作業がんばってください。

今年も春が来た。良い秋が来るように禱を引き締めて頑張ります。(匿名)

いよいよ農作業も本格的に始まりますね。

花が咲く季節になり、心が和みます。また農作業も始まり、秋の収穫が楽しみです。身体に気をつけて頑張ります。(匿名)

皆様が良い出来秋を迎えられますことを祈念申し上げます。

熊本で大きな地震がありました。被災された熊本の皆さんには心よりお見舞い申し上げます。早く余震がおさまり、安心して生活できるようにすることを祈っています。(匿名)

本当にそうですね。自分も落ち着いた頃に熊本の美味しい農産物でも取り寄せて、少しでも応援出来ればなと思っています。

えんがる「旬」の祭典 匠のアスパラ料理フェア開催中

この機会に遠軽町の「旬」の食材「アスパラ」料理を堪能してみてください。

フェアメニューご注文の方に、各店オリジナルサービス有。
さらに抽選で30名様に「参加店共通お食事券」か「遠軽産夏採リアスパラ1kg」をプレゼント！

詳細は [遠軽商工会議所HP](#) をクリック！



■期間 **4月28日(木)～5月20日(金)**

■参加店 (順不同)

道の駅しらたき、焼肉ハウス美味しんぼ、ぽっぽ家大和殿、生田原温泉ホテルノースキング、北の味萃翔、ホテルマウレ山荘、ミートパビリオンYOSHIKAWA、お食事の店マギー、軽食・喫茶コンコルド、居酒屋味尚本店、洋風居酒屋サルーテ、酒肴えんみや、居酒屋炉ばた、居酒屋やすべえ、café de TIROL、ホテルサンシャインレストランがんぼう

お問合せ先 オホーツクえんがる産業振興協議会 (<http://www.engaru-cci.or.jp/>)
(事務局：遠軽商工会議所 ☎0158-42-5201)



いもたま作造くん
第192号 ゴルデンウィーク

作: HIDE TO
絵: HISAMI